

## 区立小中学校の耐震補強工事の進捗状況について

### 1 主旨

公共施設の耐震性能の再診断と診断結果を踏まえた耐震補強工事の基本方針については、令和元年8月に全ての施設の耐震診断結果と補強工事の施工時期等について報告したところである。

本件は、耐震補強工事の基本方針に基づく区立小中学校の令和2年度の耐震補強工事等の進捗状況及び、令和3年度の工事予定等を報告するものである。

### 2 耐震再診断を踏まえた校舎棟と体育館棟の基本方針について（令和元年8月27日教育委員会報告資料から抜粋）

#### （1）校舎棟

①診断確定値の  $I_s$  値 0.6 未満の棟について、令和2～4年度に補強工事を実施し、 $I_s$  値 0.75 以上を確保する。

②耐震補強工事が単年度の夏休み期間を大幅に超える学校については、学校運営を考慮し、仮設校舎を設置せずに補強工事を2期に分けて行い、初年度の補強工事で  $I_s$  値 0.6 以上、次年度の補強工事で  $I_s$  値 0.75 以上を確保する。

③  $I_s$  値 0.6 以上の棟については、今後、内部大規模改修工事を行うタイミングに合わせて補強工事を行うこととする。

（2）体育館棟については、計画通り、本年度工事契約、令和2年度に  $I_s$  値 0.75 以上確保する補強工事を行う。

#### ※参考資料 $I_s$ 値について

（1） $I_s$  値とは構造耐震指標のことをいい、地震力に対する建物の強度、靱性（じんせい：変形能力、粘り強さ）を考慮し、建築物の階ごとに算出されるものである。「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の告示により、震度6～7程度の規模の地震に対する  $I_s$  値の評価は以下のように定められている。

- ・  $I_s$  値が 0.6 以上・・・倒壊又は崩壊する危険性が低い。
- ・  $I_s$  値が 0.3 以上  
0.6 未満・・・倒壊又は崩壊する危険性がある。
- ・  $I_s$  値が 0.3 未満・・・倒壊又は崩壊する危険性が高い。

#### （2）区の基本的な対応方針

区では、学校施設は  $I_s$  値が 0.75 以上となるよう耐震補強工事を実施している。

### 3 令和2年度工事

#### (1) 体育館棟

小中学校14校において耐震再診断を実施しており、その結果、耐震補強工事が必要と診断された以下の13校（小6校、中7校）について、令和2年度の夏休みを中心に補強工事を実施した。すべての学校についてIs値0.75以上を確保し耐震補強工事が終了した。

##### 【学校名】

小学校・・・代田小学校、東玉川小学校、九品仏小学校、喜多見小学校、武蔵丘小学校、千歳台小学校

中学校・・・富士中学校、瀬田中学校、尾山台中学校、千歳中学校、上祖師谷中学校、砧南中学校、喜多見中学校

#### (2) 校舎棟

小中学校28校において耐震再診断を実施しており、その結果、改築等により移転した若林小学校と池之上小学校を除く26校のうち、Is値0.6未満の棟を中心に以下の8校（小7校、中1校）について補強工事を実施した。

##### 【学校名】

小学校・・・旭小学校、経堂小学校、中丸小学校、池尻小学校、弦巻小学校、笹原小学校、三軒茶屋小学校（1期）

中学校・・・用賀中学校（1期）

### 4 令和3年度耐震補強工事（予定）

令和3年度の夏休みを中心に耐震補強工事を実施するため、第一回定例会において、令和3年度当初予算（案）等に必要経費を計上する。

##### 【学校名（校舎棟）】

小学校・・・代田小学校、東玉川小学校、九品仏小学校、喜多見小学校、三軒茶屋小学校（2期）

中学校・・・富士中学校、尾山台中学校（1期）、千歳中学校（1期）、上祖師谷中学校（1期）、喜多見中学校、太子堂中学校、緑丘中学校、三宿中学校、八幡中学校、用賀中学校（2期）

### 5 その他

令和4年度に、引き続き尾山台中学校（2期）、千歳中学校（2期）、上祖師谷中学校（2期）の耐震補強工事を実施する予定である。